

転進

僕は水の中を泳いでいた
息つきはできなかったが
1秒が1年に等しいほどのハイスピードで
僕は生きていた
傲慢と恐怖を両手に固く握りしめながら・・・

全ての責任はこの水にあるんだ
自由を破壊した全ての責任は！
僕はもうじき死ぬんだ
そして死体として浮いてゆき
天国という名の大気の下へと行くのだ

生を享けることの何と馬鹿らしいことが
子供達よ知るがいい
この無力を
そして勝手気ままにやるがいい
誰がそれを止められるものか！

戦争が何だ、たかがそれ位
愛が何だ、神がくれた子供だましのアメ玉だ
親が何だ、御前らはそいつらのあがきから生まれたのだ
全ては無意味なものだ
創造などは不可能だ

このことを理解できぬ奴等は
せいぜい逃亡を生きるがいい
「社会」を神としてあがめながら・・・
僕はもう御免だ
ふん、御免だ

(1993.1.2)